

# SSKR まうんてんえこお

## No.299

### 社会福祉法人 練馬山彦福祉会

#### 本部

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035  
http://nerimayamabiko-hukushikai.jp/

#### 山彦作業所 (就労継続支援B型)

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035  
Email: ymbk@mvi.biglobe.ne.jp

#### 山彦相談支援事業所 (相談支援)

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL&FAX(03)3970-2365  
Email: ymbksoudan@xqd.biglobe.ne.jp

#### やまびこ第二作業所 (就労継続支援B型)

〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36  
TEL(03)3933-8935 FAX(03)5398-7681  
Email: ymbk2@mue.biglobe.ne.jp

#### やまびこ第二相談支援事業所 (相談支援)

〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36  
TEL&FAX(03)6906-9803  
Email: ymbk2-soudan@xvd.biglobe.ne.jp

#### ワークショップ石神井 (就労継続支援B型)

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-17-4  
TEL(03)5923-9811 FAX(03)5923-9865  
Email: work@msd.biglobe.ne.jp

#### チャレンジワークやまびこ (就労移行支援)

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-17-4  
TEL(03)5923-9864 FAX(03)5923-9865  
Email: c.w.ymbk@xvg.biglobe.ne.jp

#### ワークショップ石神井相談支援事業所 (相談支援)

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-17-4  
TEL(03)5923-9818 FAX(03)3997-3650  
Email: wkcs@kzh.biglobe.ne.jp

#### やまびこ三原荘 (共同生活援助)

〒178-0063 東京都練馬区東大泉  
TEL(03)3978-6352 FAX(03)5935-6320

### もくじ

表紙 新年の挨拶

P2 山彦作業所 近況

P3 山彦・やまびこ第二 近況

P4 ワーク・チャレンジ 近況

P5 三原荘・相談支援 近況

P6 署名のお願い

P7 やまびこのペン(職員より)

P8 やまびこのかぜ(メンバーより)

謹んで新しい年の

お慶びを申し上げます

理事長 明星 晃

明けましておめでとうございます。  
昨年は風水害が各地の皆様の生活に大きな被害をもたらしております。心からお見舞いを申し上げます。

顧みて、わたしたちの作業所やグループホームのメンバーは、皆様のご理解とご協力、直接・間接のご支援をいただいたおかげで、揃って新しい年を迎えることができました。深く感謝申し上げます。

新しい年が皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。私たちも作業や地域生活を通して、豊かな人生の日々を送りたいと思っております。昨年同様のご支援をお願い申し上げます。

さて、わたしたちの各作業所やグループホームでの日々の仕事や生活、行事など、また、相談支援の活動の様子などをお届けしている「まうんてんえこお」が次号で『三〇〇号』の大きな節目を迎えることになりました。これは障害のある方が地域住民のひとりとして社会参加する拠点と場の実践の軌跡を記し、それに関わった多くの方々の姿、その時々

喜びや感動、迷いや苦闘をありのままに記しお伝えしてきたものでした。今から四二年前の一九七七年に、学校生活を終えた方々の社会参加の場としてご家族が都営住宅の一角に作業所をつくったのが「やまびこ」のはじまりでした。以来、地域のニーズの高まりに応じて働く場の作業所を増やし、生活の場であるグループホームを設け、さまざまな身近なことがらに応じる相談支援事業所など総合的な体制を整えてきた先人の、法人の「共に生きる」地域づくりの足跡を記録した証しでもあると思います。

これからも、この地域でさまざまな方々の声を響かせ、伝える『エコー』の働き的一端を担わせていただきたいと思います。

いつも温かい関心をもってご覧いただいている皆様からの反響(エコー)をいただき、ますます「共に生きる」交わりに満ちた誌面づくりに努めたいと存じます。

どうぞこれからも変わらぬご支援ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

#### 編集人

社会福祉法人  
練馬山彦福祉会

東京都練馬区  
富士見台2-19-9  
TEL(03)3998-5023

#### 発行人

障害者定期刊行物協会

東京都世田谷区  
祖師谷3-1-17  
ヴェルドウラ102号室  
頒価 20円

## 山彦作業所 近況

2019年10月6日（日）に  
 大泉秋まつりに参加してきました

大泉福祉作業所／大泉特別養護老人ホームが毎年共同開催している大泉秋祭りに自主製品のミックスナッツ・ドライフルーツの販売に行ってきました。大泉福祉作業所さんは以前から自治会活動を通して交流を行っています。その一環としてお互いのバザーやお祭りに参加して自主製品を販売させていただいたりしています。

当日は途中から雨が降ったりと、天候に恵まれた日ではありませんでしたが、利用者全員笑顔で販売をしました。がんばって販売をしたおかげか、1万円以上売り上げることができました。こういった機会の他は、なかなか作業所外で販売することが少なくなっています。参加した利用者みんながイキイキとした表情を見せ、とても良い販売の場となりました。



笑顔笑顔!!で販売しました



2019年10月19日（土）に

山彦作業所バザーを開催しました

昨年10月19日（土）に恒例の山彦作業所バザーを開催しました。地域の皆様に愛され、ご好評をいただいている山彦バザーです。

当日は、開催時間の一時間前まで雨が降るといふ天候でしたが、オープン時間の10時前には例年通りズラズラ〜と行列が。開店と同時にザ〜っと人がなだれ込み、後はいつもと変わらず、買い求めるお客さんで売り場が大混雑する活気あふれるバザーとなりました。

自治会交流として、大泉福祉作業所（以下、大泉福作さん）の利用者自治会が参加し、自主製品のおせんべいを販売されました。隣には、山彦作業所の利用者自治会が並び、恒例のコーヒー

とお菓子、自主製品のドライフルーツ & ミックスナッツの販売を行いました。両自治会が隣同士になる形でお互い良い刺激になり、販売に取り組めていました。先に大泉福作さんのおせんべいが売り切れになりました。最後は大泉福作さんが山彦の自治会に協力する形で、みんなで一丸となつてミックスナッツを売りました。

山彦の利用者からは「良い刺激になった。大泉福作の秋祭りに参加できなかったので、バザーで交流ができてよかった」という感想が聞かれました。良い交流の場となりました。



開店前には  
 いつものよ  
 うに行列が



利用者自治会による  
 販売の様子。右が大  
 泉福作さん。左が山  
 彦。

2019年12月7日（土）に  
 障害者フェスティバルに参加しました

読者の皆様は障害者週間をご存じでしょうか？以下、内閣府のHPからの引用です。

「障害者週間」は、平成16年6月の障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」（12月9日）に代わるものとして設定されました。この期間を中心に、国、地方公共団体、関係団体等においては、様々な意識啓発に係る取組を展開します。

練馬区では、毎年光が丘区民センターを会場に「障害者フェスティバル」を開催しています。山彦もレク行事とし



練馬区のマスコット  
 ねり丸といっしょに  
 パシャリ!!



て参加。今年で3回目となるグループ編成で模擬店や展示、レストラン等を回りました。肌寒く、小雨も降る天候でしたが、暖かいけんちん汁やコーンスープを飲んだり、家族へのお土産を買ったりするなどして、楽しみました。みんなお楽しみランチタイムはどこに行こうか？何を食べようか？と真剣に考え、食事の後に自分たちは〇〇に行つて美味しかったよ、じゃあ来年はそこに行つてみたいな、など話あつたりしていました。

（山田）



## やまびこ第二 近況 作業所

今回のバスレクは、静岡県沼津市に行きました。台風の影響で中央高速道路が通行止めのため、東名高速道路を利用しましたが、雨の金曜日ということもあり、最初の目的地には2時間ほど遅れて到着いたしました。現地はすっかり雨がやんでいて海の匂いがしました。昼食は竜宮海鮮市場で、60分間の海鮮焼き食べ放題を楽しみました。セルフサービスなので、皆自分の好きな具材を個別のカセットコンロの網で焼き、美味しくうに食べていました。食後はお土産を買い、沼津港へ移動し、全員で記念写真を撮って、深海水族館を見学しました。帰路もまた渋滞の為、当初の予定時間を大幅にオーバーしてしまい、皆大分疲れた表情でしたが、無事平和台に到着すると、多くのメンバーが「今日はとても楽しかった」と言ってくれました。今回のバスレク実行委員を務めてくれたOさん、Tさん、本当に有り難うございました。

（見米）



沼津港で  
写真をパチリ

## ワーク近況

### ワークバザーを 開催しました

11月23日(土)に、第29回ワークバザーを開催しました。  
今年新しい建物になってから初めての本格的なバザーとなりました。

数年ぶりに、物品提供のお願いチラシを新聞折り込みで配布すると、地域の方々からたくさんのお問い合わせをいただき、たくさんのお品を回収させていただくことができました。また、直接ワークまで物品を運んでくださる方も多くいらつしやいました。中には、以前のバザーのことを知っていて、「久しぶりですよね」「(不要になったものを)バザーに出せないかと思って待っていたんですよ」などと声をかけていただくこともありました。  
本当にありがたいと感じるとともに、あらためて地域の方々との繋がりの大切さを実感しました。

さて、迎えたバザー当日は、あいにくの雨模様。そしてとても寒い一日となりました。それでも開催時間からお客さんが集まり、出だしは好調。特に1階の衣類売り場は盛況でした。  
おかげさまで全体で10万円を超える売り上げをあげることができました。

また、参加したメンバーはそれぞれ役割を担い、楽しく参加できていたようです。売り子などの仕事を通して、地域の方々と接するなど普段できない貴重な経験になりました。

また、人数は多くはありませんが、公募させていただいたボランティアの方にも売り子としてお手伝いいただきました。今回の募集で初めてワークショップ石神井を知った、と言う方もいらつしやいました。そうした方と今後も新しい繋がりを作っていければと思っています。

今回は久しぶりのバザーということで、毎年恒例となっていた頃は、職員体制もメンバーも大きく変わり、バザー自体未経験の人も多くなりました。ワークショップ石神井とチャレンジワークやまびこが合同で行うことも、初めてでしたが、多くの皆様のご協力のおかげで、無事終えることができました。本当にありがとうございました。(渡辺)



## チャレンジワークやまびこ近況

### 2020年に向けて 「利用者インタビュー」

チャレンジワークやまびこの新年号近況は、インタビュー形式でお届けします。2019年に利用開始となったマリさんとリヨウさんのお二人に、チャレンジワークやまびこの事や、昨年の振り返り、新年の抱負などをお聞きしました。

①チャレンジワークやまびこに入ったきっかけは何ですか？

マリさん・・・見学をして気に入ったからです。入る前はやりたいことがなかったけど、入ってから就労したいと思いました。  
リヨウさん・・・自立を目指して、まずは就職から始めようと思ったからです。

②チャレンジワークやまびこのイメージはどうですか？

リヨウさん・・・キチキチとしてはいかなかったです。仕事というイメージはあまりなかったというか・・・

③自分が変わったなと思うことはありますか？

リヨウさん・・・結構しゃべれるようになったこと、就労に向けて努力していくうえで働きたいと思う気持ちになり、自信

もつきました。

マリさん・・・積極的にになりました。学校の先生からはあきらめられていたけれど、この支援員はあきらめずに接してくれているので。

④今後ここに入ってくる人に伝えたいことはありますか？

リヨウさん・・・明確に目標を持って一つの事に取り組むこと。何か起きた時は臨機応変に対応すること。例えば、仕事探しにしても色んな仕事があるのでも足りない部分があれば、それもプログラムでやったほうがいいと思います。  
マリさん・・・ここは心を開いても苦ではない場所です。

⑤今年の具体的な目標は？

マリさん・・・何事にも中途半端だと良くないと思ったので、何でもいから一つの事に絞ろうと思います。  
リヨウさん・・・就労先が生活支援の場なので、にこやかに楽しく仕事をしたいたいと思っています。



年明けから就労が決まったリヨウさんと就活が控えているマリさん。二人にとって良い一年となりますように。(支援員...大越)

# やまびこ三原荘 近況

## 共同生活のストレスについて

三原荘本体のユニットは、各フロアに共同のトイレ、風呂があります。入浴の順番は声を掛け合って利用しています。

掃除当番もあり、トイレ、風呂、食堂、廊下、玄関等を2週間に渡って掃除をしています。

グループホームへ入居するまでの生活習慣は入居者それぞれで、共有スペースの使い方、掃除の程度、加減なども差があります。時にはその違いにストレスが生じることがあります。入居者個人の状態の波によっても大きく影響します。

世話人としてはお互いの障害や状態の波があることを理解し合えるよう、入居者へ働きかけています。ストレスに対しても必要に応じてその原因や対処法などを一緒に考えていくようにしています。

入居者同士の距離感、深夜、早朝の物音への配慮、挨拶、近隣への配慮、言葉の使い方等、入居者同士がお互いに必要な配慮ができるよう関わります。

共同生活の良い点は、障害や病を持った入居者同士が、同じ目線で生活に必要なことを共有できることです。特に服薬や副

作用などについては世話人は寄り添うことはできても共感することはできません。

時には行き違いや価値観の違いにより、ぶつかることもありですが、励まし合えたり、協力できることは、入居者にとってよい意味での相乗効果が得られると思います。

身近にいた入居者が退去して1人暮らしを実現すると、これから1人暮らしをめざす入居者にとつてよい刺激になることもあります。

多少のストレスと程よく向き合うことが共同生活とその後的人生に向けての経験の積み重ねになるのだと思います。日々の支援に関わっています。

（世話人 佐藤）



「土曜の昼食づくり」 親子丼に挑戦

## ワークショップ石神井 相談支援事業所近況

相談支援には、①一般相談支援、

②「特定相談支援」、③「障害児相談支援」があります。①②は主に18

歳以上を対象、③は18歳未満が対象です。①は入所施設や長期入院

していた方が地域で暮らす際にサポート（地域移行支援・地域定着

支援）をします。②③は計画相談（サービス等利用計画の作成等）

をします。単体あるいは①②③を組み合わせた事業を各事業所が行っています。

練馬山彦福祉会の3つの相談支援事業所は②「特定相談支援」を行っており、利用者の生活状況や

希望等を伺い、サービス事業者や支給決定機関等と相談しながら計画を作成します。計画の中には、

医療や教育などの福祉サービス以外も含まれます。

福祉サービス利用中は、計画内容の見直し（モニタリング）を行う機会が設けられ個々の状況にあ

わせて定期的に行ないます。

就職したり体調を崩すなどで福祉サービスの利用を止めた場合、

計画に載っている医療や教育等が継続していても計画相談は終了し

相談支援事業所の関わりが切れるので、途中で支援を投げ出してし

まったような感覚になることもあります。

期間や関わりのお深さに関係なく、契約解除後も時々連絡をくれる元

利用者が数名います。就労がうまく続けている人もいれば、対人関

係で悩んでいる人や調子を崩してしまった人もいて、必要に応じて

関係者に連絡を入れることもあります。

就職者に限らず、辛い時期を乗り越えた先で見せる笑顔は支援者

への最高のご褒美で涙が出そうなるほど嬉しい瞬間です。充実感が得

られます。

一人でこの仕事をしていると、すぐく悩んだり、落ち込むことも

よくありますが、そんな中でも続けられるのは、この瞬間と利用者

の「ありがとう」という言葉があるからです。

相談支援事業所を利用してよかったと思われ事業所でありたいと感じています。

事業開始時はマニュアルが作られ、認知度も上がり徐々に相談支

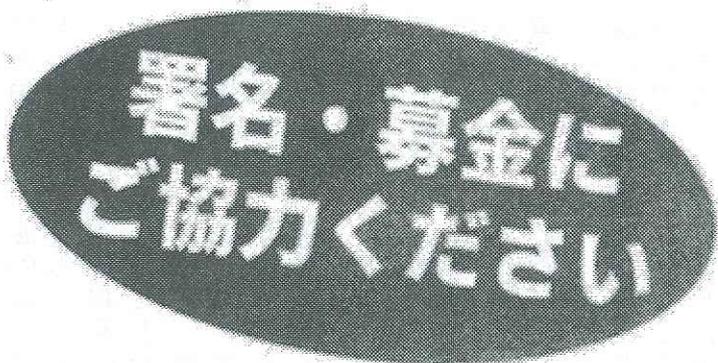
援事業の体制が整ってきており今後、相談支援事業所の支援の充実

が図られていく中で柔軟に対応できる支援体制が整えられるように

サービスの狭間で困っている人たちの声を広げていけたらと思います。

（相談員 上之原）

# 障害のある人たちが あたりまえに働き えらべる暮らしを



きょうされん第43次国会請願署名・募金運動キャンペーン  
 — 障害福祉についての制度の拡充を求め、署名を続けて43年 —

### 1. 傷手保護法で被害にあった人たちの人権回復を!

障害のある子どもが生まれないようにするために、1948年～1996年まで続いた傷手保護法により、本人への何の説明もないまま、強制不妊手術や人口調整中絶を受けさせられた障害のある人がたくさんいます。2018年、長年被害に苦しんできた被害者が訴訟に立ち上がったことをきっかけに、2019年10月現在、全国7地域で20人の被害が訴訟を起こしたかっています。

国は、この訴訟の動向と並進を受けて、2019年4月に「傷手保護法」に基づく傷手手術を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律（一時金支給法）をつくりました。しかしながら、この法律づくりの過程において、被害者の声に十分耳を傾けることはありませんでした。また、法律の内容も、①国によるハッキリした謝罪が明記されていないこと、②一時金の金額が300万円とあまりにも低額であること、③一時金支給の対象に被害者が含まれていないことなど、不十分な点が多すぎます。被害にあった障害のある人たちの人権回復によりけり法律をつくる必要があります。

本人の同意なし	18,475人
本人の同意あり	8,518人
合計	24,993人

※この他にも人工妊娠中絶の被害者が52,072人います。

### 3. 福祉現場で必要な職員を確保できるように!

福祉現場は深刻な人手不足が続いています。その一環の理由は、職員の給与が一般労働者の平均賃金と比べて約10万円も低いことにあるからです。

国々から事業所に支払われる賃金（報酬）が少いことに加え、障害のある人が通えなかった福祉事業所にお金が入らない「盲点」的運営方式や、一定の条件の付いてしか報酬がとれない運営方式によって、事業所の運営が安定しない実情があります。そのため職員の高率の辞職は恒常化し、必要な職員を確保できなくなっています。

“福祉の現場”で長く仕事が続けられるよう国は必要不可欠な人が福祉の仕事に携わることによって、給与水準や労働条件を引き上げることが必要です。

一般労働者	336,700円
福祉施設介護員	236,700円

※厚生労働省「賃金センサス2019」より算出

### 2. 障害年金を引き上げ、暮らしを支える制度拡充を!

当会の調査で、障害のある人の多くが大人になっても国と一緒に暮らしていることがわかりました。高齢の親の介護を受けている人もたくさんいるのが実態です。所得があまりにも低いことがその大きな理由です。障害のある人たちの生活の中心となる障害基礎年金は、2級月65,008円、1級月81,200円です。障害年金を引き上げ、生活を営むことのできる所得保障をすすめてです。

また、生活の質であるグループホームは数が足りていません。一人で暮らすときに必要となるヘルパーも足りていません。障害のある人が希望する暮らしを送れるよう制度を充実させる必要があります。

### 4. 支援を自ら選べるように 介護保険優先原則の廃止を!

障害者総合支援法では、65歳あるいは特定疾病になると、介護保険を優先して使わなければならないと定められています。障害のある人は新たな利用料負担が生まれたり、それまで使っていた利用時間が減らされたりします。65歳を迎えても、障害は変わりません。逆に、加齢により暮らしの中で困ることは増えています。支援は減ることになります。

65歳になっても、本人の希望にそって必要な制度をえらんで利用できるように、介護保険優先原則を廃止する必要があります。

障害のある人	61.6%
障害のない人	16.1%

障害のある人	約80%
障害のない人	約20%

※国は、障害のある人の生活を支えるために、国が負担する費用が、障害のある人の生活費の約8割を占めています。

### 5. 地域活動支援センターの 実態調査と制度拡充を!

「就労継続支援B型事業」や「生活介護事業」などの運営費は、国が支払う金額の基準を決めています。

しかし、「地域活動支援センター」の運営費は、国が示す標準額をもとにして、市町村が決めるので、ほかの事業に比べて事業所に支払われるお金がとても少なく、市町村の財政が厳しくなると減額されてしまいます。国の責任で、地域活動支援センターが安定した運営ができるように求めています。

きょうされん第43次国会請願署名・募金運動にご協力をお願いします。

今年も署名活動の時期がやってきました。国会請願署名とは障害のあるかたやそこで働く人たちの思いや要望を直接国会議員の方々へ請願署名として伝えるものです。この署名が厚生労働委員会で採択され、本会議でも採択されることで新しい法律にもつながる大事な署名です。また、私たちの思いを国会議員の方々に直接手渡しできる貴重な機会でもあります。ぜひ、皆様のご協力をよろしくお願いします。いただいた募金は請願活動資金やきょうされん活動など福祉の向上に遣わさせていただきます。

# やまびこのペン

## やまびこの縁

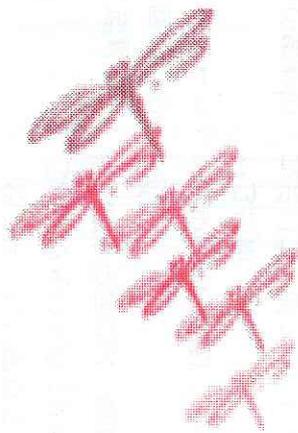
山彦作業所 黒川 恵

私が中学生の時から我が家には、この「まうんてんえこお」が届いていました。

私の弟に障害があった事で、障害者を知りたいと祖母が福祉に目覚め、やまびこ第二作業所の自主製品の販売員のボランティアをしたり、ワークショップ石神井の昼食作りのボランティアとして、山彦グループと関わりを持っていました。一緒に住んでいた祖母は、この「まうんてんえこお」が送られてくるのを楽しみにしていて、ニコニコして見ていました。孫の将来を想い「重い障害があっても、毎日楽しく、明るく、生きていってくれたらいいな」とよく言っていました。

一緒に住んでいた祖母は私が大学の時に亡くなりました。祖母が亡くなり何年も経ち、母方の祖母が住んでいる長野に遊びに行った時に、長野の祖母が使っていた化粧ポーチがやまびこ第二作業所の自主製品のさをり織りのものでした。「なんでばーちゃんがこれを持ってきているの?」と聞くと、東京の祖母が亡くなった時に、「形見分けで、この化粧ポーチが気に入ってこれをもらったんだ。毎日お化粧をする時にポーチを見て東京のおばあちゃんを思い出しているよ」と言っていました。

遠い長野でも、やまびこの縁を見つけました。

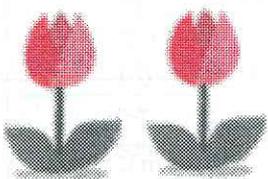


私の大切な方の妹のMさんはダウン症で、山彦作業所が練馬区貫井のプレハブだった時代に短い期間でしたが通所していました。Mさんが1人通所できる心配で、私の大切な方は、バス停に隠れてMさんが乗り過ぎさないか見守っていたそうです。乗り過ぎしてしまったり、勝手にファミレスに入ってお金もないのにたくさんご飯を食べてしまいが家に電話がかかってくる事もあったようです。

Mさんのお母さんは、「私は、Mの1日あとに死にたい。この子を残して死ねないわ」と言っていました。Mさんは、60歳で亡くなり、お母さんはMさんのお葬式の次の日に具合が悪くなり、半年後に92歳で亡くなりました。お母さんの張っていた気持ちはどんなにすごいものだったのかと思います。ここにも山彦との縁がありました。

たくさん縁に導かれて、私も山彦グループへ働かせて頂くことができました。利用者が大好きで、利用者と一緒にいたいという思いだけで、10数年働けているのは、周りの方々とこの縁のおかげだと思っています。苦しい時に励ましてくれ、自分の考えに自信がなく迷っている私と一緒に考えようと背中を押してくれる同僚がいる。

将来は、山彦グループを地域で一番愛される作業所にしたいと夢を語り合える仲間がいる。たくさん大好きな人達に囲まれて、仕事ができ幸せな毎日を送っています。



# やまびこのかぜ

やまびこ第二作業所では、毎週木曜日に近隣にある診療所の清掃をおこなっています。今回はその「外勤作業」を頑張っておこなっているメンバー3名に訊いてみました。

★外勤作業ってどんな仕事をするのですか？感想もお願いします。

Oさん・Fさん・Kさん

毎年一回、作業所のメンバー、職員が、健康診断をおこなう2階建ての診療所の待合室、会議室、トイレなどを清掃する仕事のことです。場所は作業所から歩いて約15分位で、清掃時間はお昼休みの午後1時から2時におこなっています。工賃は一回につき一人千円です。

Oさん

私は一階を清掃していて、毎週木曜日、全ての週を一人でおこなっています。清掃内容は、①電気掃除機でフロアの絨毯などのホコリ取り後、モップでこする。②トイレ掃除は、洗剤をかけてブラシで汚れ、水垢を落とす。除菌ペーパータオルで、便座、便器などを拭く。床をモップで水拭きする。最後に消臭剤をスプレーして完了です。

診療所は自転車で行っていますが、夏や冬は厳しいので、その時は自動車免許があったらと思います。Fさん

私は二階の清掃をしています。毎月一、二週目におこなっています。清掃内容は、会議室の掃き掃除、モップがけ、トイレの洗面所、鏡の拭き掃除、便器の磨き掃除、床、階段の手すりのモップ掛け、そして階段の掃き掃除で終了です。一階に降りて、まだ清掃が終わっていない場合は、まだ清掃していない場所をおこないます。

診療所のゴミ箱がいっぱいになると、取り替えていただくようお願いをするのですが、その際は丁寧な表現を心掛けて、診療所の方に伝えていきます。Kさん

私も二階の清掃で、毎月三、四(五)週目におこなっています。清掃内容は、前述通りです。私は清掃後はホコリが無いように心掛けています。トイレの手すりや手を触れる箇所は、念入りに拭いています。階段については、掃いてゴミを取り、ホコリやゴミが落ちていないか確認しモップがけをして、手すりやハンディモップできれいに拭いて終了ですが、一階の掃除がまだ終わっていないければ一緒に掃除をします。

今のところ特に困っている事はありません。私は1時間という清掃時間の中で、各清掃箇所を分単位で割り振っておこなっています。これからも丁寧に清掃を心掛けて責任を持って取り組んで行こうと思っています。

Oさん、Fさん、Kさん、有り難うございました！

左からOさん・Fさん・Kさん



これからも宜しくお願いします！

## やまびこ第二バザー中止のお詫び

去る10月12日(土)に開催を予定していましたが「やまびこ第二バザー」は、台風接近に伴う悪天候のため中止と致しました。お客様、スタッフの方々、そして利用者の安全を第一に優先し、検討した上で判断を致しました。

バザー開催を心待ちにされていた皆様には、ご迷惑をお掛け致しまして、誠に申し訳ございませんでした。心よりお詫びを申し上げます。

つきましては、今回皆様からのお品物等は次回の開催で出品させていただきますので、ご理解のほど、宜しくお願い致します。

やまびこ第二作業所 職員一同

## 編集後記

新年、明けましておめでとうございませう。いつも「まうんてんえこお」を愛読いただきまして、誠に有り難うございます。本誌は、皆様方のお力添えにより、次号で300号を迎えることになりました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

まうんてんえこお編集者一同

# 障害福祉についての法制度拡充を求める請願

2020年 月 日

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

紹介議員 印

請願団体 きょうされん

住所 東京都中野区中央 5-41-18 東京都生協連会館 4F

請願人代表

住所

(他 名)

## — 請願趣旨 —

現在すすめられている「全世代型社会保障改革」では、社会保障における給付と負担の見直しが検討されており、国民にさらなる負担が強られることで、憲法 25 条で保障された生存権がますます脅かされつつあります。

障害福祉においては、ここ数年、成果主義が強められ、就労系事業所では平均工賃の高い事業所がより多くの報酬を受け取る等、生産性や目に見える成果のみを評価した報酬体系となりました。また、雇用施策と福祉施策が分断されていることにより、通勤支援が受けられない等、障害のある人たちの就労の機会が奪われ続けています。

さらに、1996 年まで続いた優生保護法により、被害者は尊厳を踏みにじられてきたにも関わらず、「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」は、その人権回復には程遠い内容であるとともに、国の責任を全く明らかにしていません。

障害者権利条約に掲げられた、障害のある人が障害のない人と同等に生きることのできる社会を実現するためには、日本の障害福祉関連予算を、せめて OECD の平均並みに引き上げることは、欠かすことのできない優先課題です。

以上をふまえ、次の項目について請願します。



あたりまえに働き えらべる暮らしを  
～障害者権利条約を地域のすみずみに～

### きょうされん

【事務局】

〒164-0011 東京都中野区中央 5-41-18

東京都生協連会館 4F

TEL 03-5385-2223

FAX 03-5385-2299

Email zenkoku@kyosaren.or.jp

とりくみ  
法人・事業所

第43次国会請願署名・募金運動  
全国キャンペーン  
新刊 障害者権利条約 10周年記念  
第43次国会請願署名・募金運動  
全国キャンペーン  
第43次国会請願署名・募金運動  
全国キャンペーン

## — 請願項目 —

1. 「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」は、国の謝罪を明記し、支給額を見直すなど、被害者の人権回復にふさわしい法律としてください。
2. 障害年金を安心して生活できる水準まで引き上げるとともに、グループホームやヘルパー制度など希望する暮らしを支える制度を拡充してください。
3. 「2021年度の報酬改定」では、必要な職員を確保して十分な支援ができるよう、基本報酬を引き上げてください。
4. 障害のある人が65歳を超えても必要とする支援を自ら選んで利用できるよう、介護保険優先原則を廃止してください。
5. 地域活動支援センターが安定して運営できるよう、国の責任で実態を調査し、制度を拡充してください。

氏 名	住 所
	都道 府県

◇署名は鉛筆ではなく、ボールペンまたはサインペンでお願いします。

◇住所は「同上」、「々」は使わず、都道府県名から番地までご記入願います。

◇請願署名のとりくみは、「個人情報の保護に関する法律」には抵触しません。また、署名用紙に記入された氏名・住所は、請願として国会に提出する目的以外に使用することはありません。